

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 単回使用汎用吸引チップ 35917102

ディスポ吸引管

再使用禁止

***【禁忌・禁止】**

＜適用対象(患者)＞
材質に過敏症のある患者には使用しないこと。

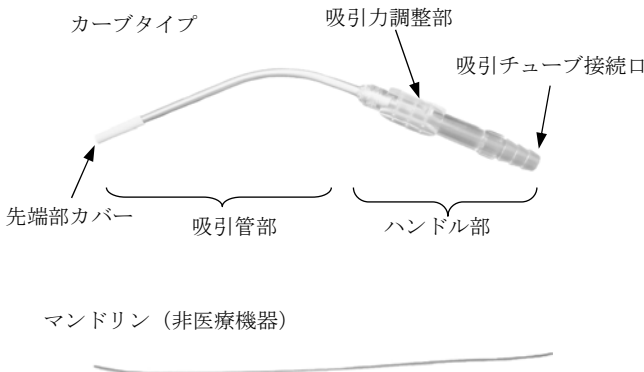
＜併用医療機器＞
MRI 等の強磁場を発生させる装置との併用や、強磁場環境下で使用しないこと（「相互作用」の項参照）。

＜使用方法＞
再使用禁止、再滅菌禁止

***【形状・構造及び原理等】**

1. 形状
吸引管は先端部カバー付と先端部カバーなしがある。

代表的写真



2. 原材料
吸引管部：アルミニウム又はステンレス鋼
先端部カバー：硫酸バリウム含有シリコーンゴム
(X 線透過マーカー)

3. 原理
吸引配管又は電動式吸引器等に接続して得られた陰圧によって、体液、血液等を吸引する。

【使用目的又は効果】

外科、脳外科又は整形外科、歯科等の手術又は処置等において、血液、体液、分泌液又は骨片等を吸引・排出する。

****【使用方法等】**

1. 使用方法
- 1) 本品を滅菌包装より無菌的に取り出す。
 - 2) 吸引チューブ接続口からマンドリンを取り外す。
 - 3) 吸引チューブ接続口に、吸引用チューブ及び吸引配管（又は電動式吸引器等）を接続する。
 - 4) 吸引器の吸引力を必要な強さに調整する。吸引力調整部にある吸引力調整孔の塞ぎ具合で、吸引力を調整することができる。
 - 5) 片手で吸引管を持ち、吸引力調整孔を指で塞ぎ、先端を使用部位に接触させ血液等を吸引する。
 - 6) 使用後は、適正な方法により廃棄する。

2. 使用方法に関連する使用上の注意
- 1) 用途によって先端部カバーを必要としないときは、先端部カバーなしを選択すること。
 - 2) 先端部カバー付は、カバーを無理やり外さないこと。先端部カバーが装着されているか適時確認すること。[脱落して、体内に遺留する可能性がある]。
 - 3) 使用中に、骨の尖った部分やドリルなど、接触すると破損する可能性があるものと接触させないこと。
 - 4) 本品の先端を臓器・脈管等に強く押し付けたり、擦り付けたり、引っ掻いたりしないこと [臓器等損傷の危険性がある]。
 - 5) 必要に応じて、吸引管を使いやすい角度に曲げて使用すること [ただし、極度の曲げは破損する可能性がある]。
 - 6) いったん曲げた吸引管を同じ箇所でも逆方向に曲げ戻して使用しないこと [破損し、患者の臓器等損傷の危険性がある]。
 - 7) 吸引管内への異物の付着等によりじゅうぶん機能しない場合、付属のマンドリンを用いて異物を除去すること。
 - 8) マンドリンを挿入したまま吸引しないこと [吸引不良、臓器損傷の危険性がある]。
 - 9) 本品と電気メスを併用する場合は、メス先端電極を本品に触れた状態で使用しないこと [本品は電気を通すため、スパーク発生や臓器損傷、術者に危害を及ぼす等の危険性がある]。

3. 組み合わせて使用する医療機器
- 1) 本品は、吸引配管（又は電動式吸引器等）と併用して使用できる。
 - 2) 本品は、「販売名：S-VS チューブ、届出番号：27B1X00024000203」、「販売名：S-VS チューブ ソフトタイプ、届出番号：27B1X00024000205」、「販売名：BONIMED サクションチューブ、届出番号：27B1X00024000045」、「販売名：医療用チューブ、届出番号：27B1X00051000009」等と併用して使用できる。

****【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意
- 1) 本品を曲げて使用する際は、折れ目が入るまで曲げたりしないこと [吸引管の内腔が潰れて吸引不良、吸引不能となったり、破損して臓器を損傷する危険性がある]。
 - 2) 先端が組織内に埋まって吸引できないときは、吸引力調整孔で吸引圧を下げることで対応すること。
2. 相互作用
併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI 等の強磁場を発生させる装置	発熱及び引き寄せの危険性がある。	本品との併用に関する安全性が確認されていない。

*【保管方法及び有効期間等】

滅菌有効期間：3年〔自己認証（当社データ）による〕

*【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売者：村中医療器株式会社

TEL:0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>

製造業者：パシフィック ホスpital サプライ社 台湾

Pacific Hospital Supply Co., Ltd.